

学力向上担当
者の先生方へ

みんなで語ろう！家庭学習の意義について

家庭学習の質を向上させ習慣づけるには、「**家庭学習の意義**」を、教員だけでなく児童生徒・保護者とも確認することが大切です。各校において、次に示した「3つの視点」を参考に、話し合う機会を設けましょう！

視点①：授業の復習

Q. どうして授業で習ったことを家でもするのか？

A. 人間はわかったことでも、何もしないでいると、どんどん忘れていってしまいます。学校で学習したことを復習し反復練習することにより、学校で「わかった」ことが、「できる」になります。せっかく勉強したことを忘れたくないですね。「できる」が増えると勉強も楽しくなります。また、読み・書き・計算を毎日続けることで脳が鍛えられます。脳も手足の筋肉と同じように毎日繰り返し使うことで、活発に動くようになります。



視点②：自己教育力

Q. どうして家で勉強しないといけないの？

A. 家庭に帰ると自分が自由に使える時間がたくさんあります。テレビやゲーム、スマホなどの誘惑に打ち勝ち、勉強時間を確保することで、がまん強さ、根気、集中力を身につけることができます。これは中学生・高校生・大学生になっても、大人になってどんな仕事に就いても大変必要な力です。また、自分の生活の時間管理ができるようになると、大人になって自分の趣味やレジャーを楽しむ時間を上手に作り出すことにもつながります。



視点③：自主学習（予習を含む）

Q. どうして自主勉強をしないといけないの？

A. 宿題と併せて自主勉強をし、一定の時間、毎日家庭学習を続けることで、勉強することが当たり前の習慣となります。自分で考えた勉強をすることは、自分の得意なことを伸ばし、苦手なことを克服することにもつながります。自分に必要なことや興味のあることを自ら勉強する方法は、将来の夢や希望を実現させるためにも、これから大切になります。今から自分で考えて勉強する方法と習慣を身につけることが大切です。



指示された宿題を決められた期日までに提出することは、責任感を持つこと、やりきる力をつけることにもつながります。社会人にとっても必要な資質であるこうした力を、宿題をとおして子供のころから養っていきましょう。

